

愛犬の誤飲に要注意！

ゴミ箱をあさっていて異物を飲み込んでしまったり、おもちゃとして遊んでいるうちに飲みこんでしまい慌てて病院にかけ込むなど、愛犬の異物誤飲は悩みどころ。誤飲しやすいものとしては「プラスチック製品」「人の医薬品」「チョコレート」などが多く、焼き鳥やお肉を「竹串」ごとパクリといった事故もよくあります。とくに幼児期の愛犬は、好奇心が強くなんでも飲み込んでしまうので飼い主さんの注意が必要です。愛犬の異物誤飲を防ぐためにはどのようにすればよいのでしょうか？



日頃からの心がけが大切！

＜「貸して」「ちょうだい」の習慣化＞

普段から「貸して」や「ちょうだい」と言うとき口にくわえたものを飼い主さんに渡す練習をしておくと、万が一危険なものをくわえてしまっても対処することができます。

＜危険なものを隠す＞

愛犬の行動範囲には食べてはいけないものを置かないようにしましょう。ゴミ箱は手の届くところに置かず、飲み込んでしまう危険がある小さなおもちゃなども与えないように。



愛犬が食べてはいけないもの例

チョコレートやお茶
たまねぎ、ねぎ、にら、にんにく類
レーズン・ぶどう
鶏や魚の骨

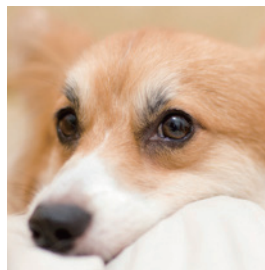


異物をくわえているとき



＜気をそらせる＞

口の中を無理に取り上げようとすると慌てて飲み込んでしまう場合が多いので、なにかに気をそらせたすきに取り上げるようにしましょう。



＜万一誤飲してしまったら＞

すぐに吐かせたいところですが、飲み込んだ状況により吐かせて良いものと悪いものがあります。無理に吐かせようとはせず、できるだけすぐに動物病院に連絡をして獣医師の指示に従ってください。

オススメ商品

インテリア収納「ヴィータス」

愛犬の届かないところにスッキリ収納



愛犬のいたずらによる誤飲を防ぐコツは、危険なものを見せない、触らせないこと。トビラ付き収納にスッキリ片付けておきましょう。ライフスタイルに合わせて選べる収納タスボックスは、キャビネット・開き戸・引き出しなどバリエーションも豊富。地板のないタイプならゴミ箱の収納も可能です。もちろん、収納下に愛犬用スペースを確保するプランも選べます。

商品のお問合せは…



成建

〒 286-0815 千葉県成田市土室758-5
Tel : 0476-85-8815 Fax : 0476-85-8816